

普及活動情勢報告（平成28年9月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

安全・安心な出荷物を市場へ送り出す ～ＪＡとさし出荷場ＧＡＰ推進の取組～



出荷場での作業

農業改良普及課は、ＪＡとさし販売課とともに出荷場ＧＡＰの実施に取り組んでいます。

8月の出荷場担当者会を皮切りに、9月に、ＪＡとさし全出荷場（7カ所）の担当者に個別ヒアリングを行い、現状の課題を把握したうえで、「ＪＡとさし独自版点検シート」を作成しました。

ヒアリングでは、近年の市場や仲卸の動き等からＧＡＰの必要性を肌で感じるといった意見も多く、協議の結果、平成29園芸年度から全出荷場で点検活動に取り組むことが決まりました。

農業改良普及課は、今後もＪＡと連携して、点検活動さらにＰＤＣＡサイクルの定着を推進していきます。

パワーアシストスーツの実演会を開催 ～説明を受けて・見て・試着してみて～



パワーアシストスーツの実演状況

ＪＡとさし土佐文旦部会では、全農高知の協力を得て、8月26日の総会において、2社のパワーアシストスーツの実演会を開催しました。

パワーアシストスーツについては、農業改良普及課が、部会の役員会に説明を行い「能力が高ければ、購入しても良い」という意見が出ていたものです。そこで、まだ見たことがない部員もいたため、実演会を開催し、実際に生産者に試着してもらいました。

実演会では、その性能や操作性に関心が高まり「10日くらい試用してみて、実際の作業にどのくらい役立つか確認したい。」等の意見がありました。

農業改良普及課は、関係機関と連携し、労力軽減に向けて、今後もパワーアシストスーツの研究・導入支援を行います。

6次産業化って、なんだろう？ ～6次産業化入門講座～



講演の様子

9月6日、農業改良普及課は、ＪＡとさし女性部事務局と連携し、土佐合同庁舎において、6次産業化入門講座を開催しました。6次産業課の拡大を図るため、(株)アークデザイン研究所の松本敏氏を講師に迎え、ＪＡとさし女性部員13名の参加がありました。

参加者のほとんどは、6次産業化とは何なのか知らないとの事でしたが、講師とのやりとりを交える中で理解が深まっていきました。直販に取り組んでいる参加者も多く、お客さんの目線での商品作りやＰＯＰの工夫等、取り組んでいきたいという声もありました。

農業改良普及課は、今後とも関係機関と連携し、6次産業化の基盤を広げる取り組みを行っていきます。

試食宣伝「土佐岩戸米をたべてみて」
～土佐岩戸米営農組合のブランド力強化を支援～



土佐岩戸米のおいしさをPR

農業改良普及課は、土佐市・JAとさしと連携し、土佐岩戸米営農組合の活動を支援しています。

高品質で味の良い「土佐岩戸米」の魅力を広く知らせたいとの営農組合の要望を受け、県産米ブランド化推進事業の導入を支援し、販売促進に力を入れています。

9月10日（東京）、9月17日（土佐市新居地区観光交流施設「南風」）で実施したイベントにおいて、のぼりや法被等を活用した宣伝を行い、来場者に、土佐市の集落営農組織が作ったブランド米「土佐岩戸米」を印象づけることができました。

農業改良普及課は、今後も事業も利用しながら集落営農を支援し、ブランド確立に向けて取り組んでいきます。